

研究協力をお願い

《課題名》

オピオイドの投与経路による便秘出現に関する前後比較研究

《研究対象者》

2013年1月以降2024年3月までの間に当院でモルヒネ、ヒドロモルフォン、オキシコドン、フェンタニルのいずれかを使用し、入院期間中にそれらの投与経路を変更したがん患者

研究協力をお願い

本研究は、オピオイドの投与経路の違いによる便秘の出現率と、それに影響を与える因子について調査・分析することで、オピオイドによる便秘等、患者さんの抱えるリスクを軽減することを目的としています。研究は、薬剤科で行い、該当する患者さんを対象者として登録し、診療情報を診療録から取得します。調査期間中に当院に入院し、オピオイドの投与経路を変更したがん患者さんの年齢、性別、オピオイドの用量、有害事象等を記録します。

情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって研究に関する事項を公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（データ・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

① 情報の利用目的及び利用方法

・方法

本研究は、薬剤科で行い、該当する患者さんを対象者として登録し、診療情報を診療録から取得します。調査期間中に当院でモルヒネ、ヒドロモルフォン、オキシコドン、フェンタニルのいずれかを使用し、入院期間中にそれらの投与経路を変更したがん患者さんの年齢、性別、オピオイドの用量、有害事象等を記録します。

・調査項目

患者背景（年齢、性別）、オピオイドの用量、生化学検査値、併用薬、有害事象等

・分析方法

統計解析には単変量ロジスティック回帰分析および多変量ロジスティック回帰分析を用い、オピオイドの投与経路変更後の便秘の出現に影響する因子を調査します。なお、 $p < 0.05$ の際に統計学的に有意とします。